

整備コンセプトが決定しました！

子ども達が自然と触れ合い思いっきり遊び、
みんなでつくる、安心安全な大和公園

～整備コンセプト検討時のワークショップ参加者たちの思い～

- ・子ども達が落ち葉を集めてパツと撒いたり、落ち葉に飛び込んだりするような遊びを自然と触れ合うこととしたいため、「思いっきり遊ぶ」というキーワードを入れたい。
- ・公園は子どもが遊べる場所でもあり、大人達が集える場所でもある。公園で遊ぶだけでなく、公園を綺麗に維持していこうというこれからの事を考え、みんなで作っていくことができる公園になって欲しい。
- ・「みんなで作る」のみんなは、多世代（子ども達からお年寄りまでみんな）という意味も含まれている。

公園施設の設置場所の検討



取り外し可能なツールを使い、新しい遊具などが、公園内のどこに設置できるか、検討しました。数々の公園施設を参加者の皆さんと話し合いながら、図面に納めていただき、ワークショップでの公園プランがまとまりました。

第3回ワークショップにて参加者の皆さんにまとめていただいた施設配置とご意見は次頁をご覧ください。



取り外し可能なツールを使い
図面に配置していきます



大和公園

Vol.3

再整備ニュース

発行：中野区 公園課
発行日：令和5年1月
制作：株式会社フジヤマ

このたび、「中野区公園再整備計画（令和4年3月策定）」に基づき、大和公園を改修することとなりました。時代やニーズに対応した子どもから大人まで楽しめる「魅力ある大和公園づくり」を推進するため、ワークショップ（話し合いの場）やオープンハウスを開催し、大和公園利用者の皆さんのご意見を公園づくり・再整備に活かしていきます。

このニュースでは、オープンハウス、ワークショップ終了後、話し合われた内容をその都度お知らせしていきます。皆さんのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ：中野区 都市基盤部 公園課 公園整備係
TEL：03-3228-8843
メール：koenseibi@city.tokyo-nakano.lg.jp

[中野区公園再整備計画の詳細はこちら→](#)



大和公園再整備に向けて今年度の取組み

現状・課題把握

オープンハウス
(9/30、10/1に開催済)
今の公園について現状・課題を把握します。

①アイデア検討

第1回・第2回
ワークショップ
(10/29、12/10に開催済)
公園の改修方法、懸念事項、設置条件等について検討します。

②解決方針の設定

第3回ワークショップ
(1/21に開催済)
平面プランの方向性を確定

③対策の検討立案

平面プランのお披露目
近隣住人アンケートを行い、結果を踏まえ改修案を調整し完成させます。

第3回ワークショップを開催しました

～第3回ワークショップの概要～

1月21日（土）14時00分より開催した第3回ワークショップでは5名の方が参加しました。今回のワークでは、オープンハウスやこれまでのワークショップを通して頂いた皆さんのご意見から整備コンセプトをまとめました。

また、前回のワークショップで検討した大和公園に設置したい公園施設をまとめ、設置場所の検討、施設の規模の確認等を行いました。

皆さんからは様々な視点からの案が出され、議論が進みました。



ワークショップの様子

第3回ワークショップの
資料はこちらから



～第3回ワークショップにて参加者の皆さんにまとめていただいた施設配置とご意見～



球技エリア

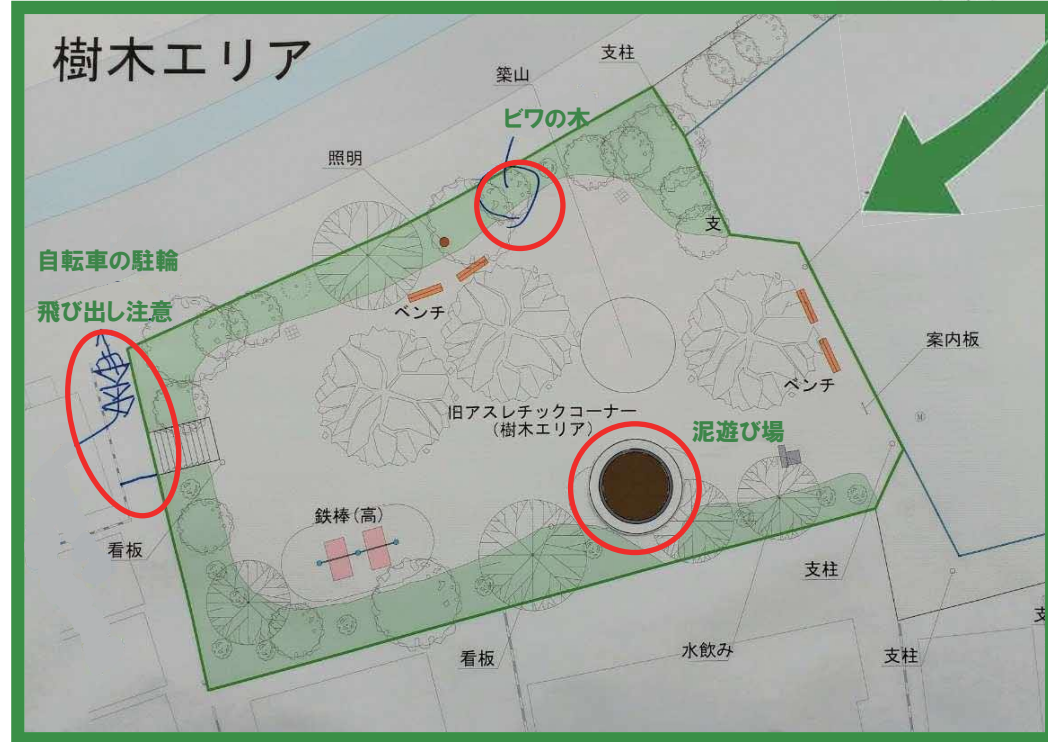
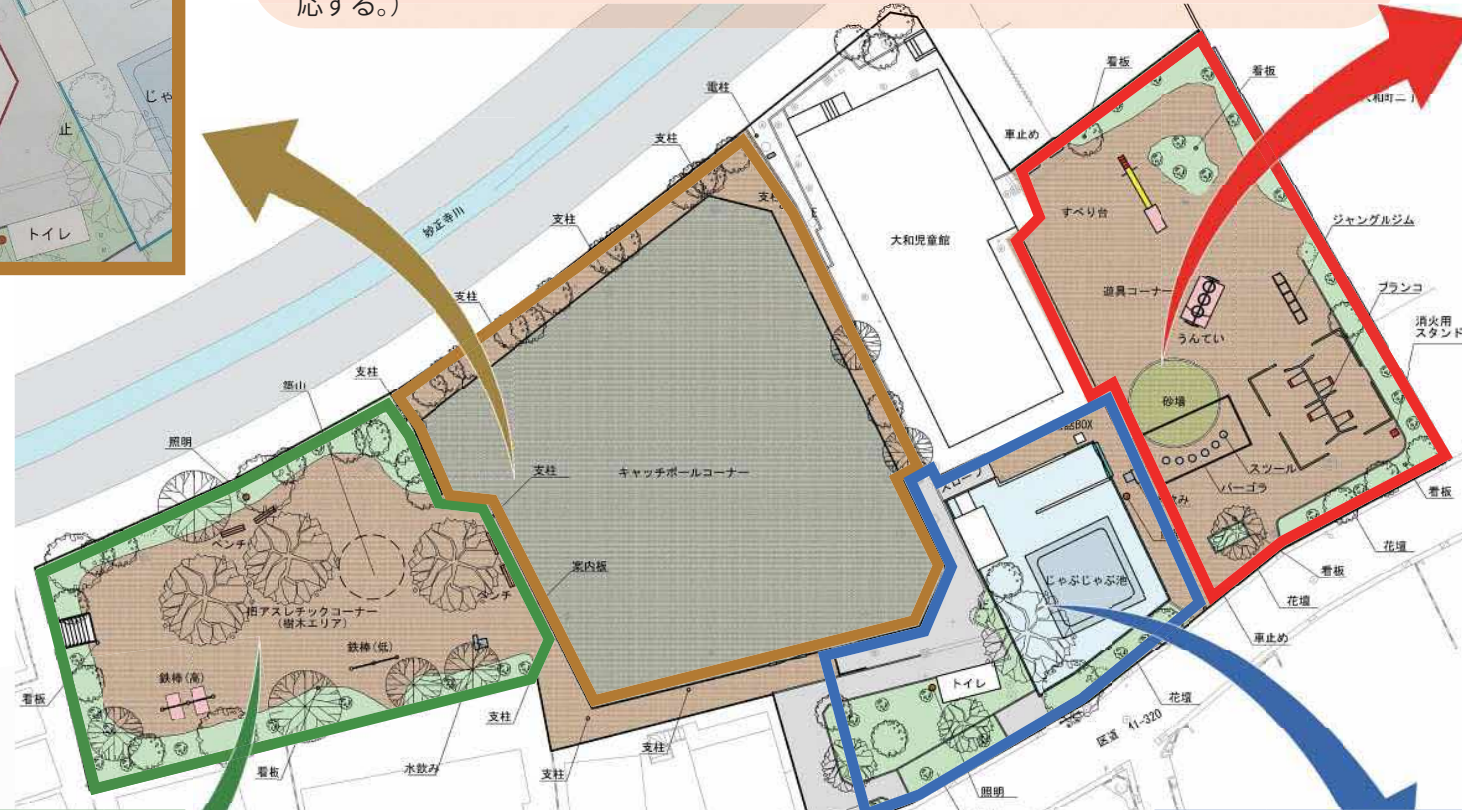
- ボール壁当て、バスケットゴールの設置
(これらの施設は音が発生するため、公園の近隣住民の方々へアンケート調査を実施し、結果を踏まえ設置の可否を判断。)
- 飛び出ている支柱のコンクリート基礎の対応
(子ども達の走り回る動線(フェンスの外側)に支柱の基礎が飛び出ている危険。)

遊具エリア

- 幼児も利用できるブランコへ更新
(オープンハウスにて幼児用遊具設置のご意見を多く頂いた点、第1回ワークショップでの広い世代が利用できる遊具にしたいといったご意見に考慮。)
- 複合遊具の設置
(小学校、幼稚園・保育園アンケートで1番人気があった点に考慮。)
- 砂場の樹木エリアへの移設
(複合遊具を設置するため樹木エリアへ移設する。地域での維持管理、運営が可能という目処がたった場合泥遊び場として運用を開始する。)
- 藤棚の撤去
(複合遊具を設置するため藤棚を撤去する。新しく木陰となる場所に休憩施設の新設して対応する。)



※複合遊具は現段階でのイメージです。



樹木エリア

- 泥遊び場の設置
(現在は砂場の開設を想定しているが、地域での維持管理、運営が可能という目処がたち次第、泥遊び場として運用開始する。位置は、現在プレーパークの方が仮設で泥遊びを実施している場所かつ水飲み場から近い場所とする。)
- 鉄棒(低)を撤去または移設
(泥遊び場の設置に伴い撤去または移設する。)
- ビワの木の移植可否、西側階段部から河川沿い道路への子どもの飛び出し防止対策の検討

水辺エリア

- ドライ池、せせらぎの設置
(第1回WSでの「水辺空間やせせらぎの必要性」、「幼児以外もじゃぶじゃぶ池を使用できるようにしたい」などのご意見や再整備計画に考慮。)
- 樹木下に休憩施設の設置
(藤棚の撤去に伴い、木陰になる部分に、縁台やサークルベンチ等の休憩施設を設置。)

